



一人暮らし高齢者の孤立などが問題化されている昨今、高齢者の安心した生活を確保するために、市内外の52事業所と9関係機関が連携して高齢者の安否確認を展開していく「桜川市高齢者見守りネットワーク事業」の協定調印式

# 平成25年度 施政方針



桜川市長 中田 裕

平成25年3月5日から3月18日の会期で開催された、第1回桜川市議会定例会で、新年度の市政運営に向けて、中田市長が施政方針を述べました。今月号で、その概要をお知らせいたします。  
なお、新年度予算の概要については、来月号に掲載いたします。

## 市民と行政による豊かな地域の自治づくり

**計画的・効率的な自治体運営の推進**  
多様化する社会環境に対応できる組織機構の見直しを行い、効率的な行政運営と行政サービスの向上を図ってまいります。

## 健全な財政運営の推進

財源確保対策の推進として、納税の公平性の観点から、不良債権に対し、差押え・不動産の公売を実施し、収納率の向上を図るとともに、受益者負担の原則に基づき、使用料・手数料の見直しを行い、料金の適正化を推進してまいります。  
また、市単独の補助金の適正性を検討するために、補助金検討委員会を開催いたします。

## 安心とやすらぎのある健康福祉社会づくり

### 健康づくりの推進

生活習慣病や感染症などの疾病予防や、こころの健康保

## 地域福祉の推進

それぞれの地域の実情に応じ、住民ニーズに即した保健・医療・福祉などの総合的なサービス提供体制を構築するために、社会福祉協議会などと連携を図りながら、誰もが安心して暮らせる社会づくりを推進してまいります。

## 高齢者福祉の推進

「地域包括支援センター」を中心とし、在宅介護サービスや施設サービスの充実を図るとともに、昨年、本市が県内で最初に発足した「桜川市高齢者見守りネットワーク」の連携をとりながら、高齢者が安心した生活を送り、互いに支えあう地域づくりを推進してまいります。

また、元気な高齢者を増やすために介護予防事業に取り組むとともに、高齢者の生きがいづくりに、シルバー人材センターと連携し、豊かな経験と知識を持った高齢者の就業機会の確保と地域の高齢者クラブなどの活動の支援をしてまいります。

## 地域医療の充実

救急医療体制や医師不足といった市民の皆様の不安を解消するため、新中核病院の再編統合に向けた協議を進めるとともに、「県西総合病院の将来ビジョン」を作成し、市民の皆様が求める地域医療の充実・県西総合病院が担う役割を明確にして、その将来像を検討いたします。

一方で、急速な高齢化や疾病構造の変化・医療構造の向上などが、年々医療費の増加を招き、国民健康保険制度や高齢者医療保険制度は、厳しい財政運営を余儀なくされております。  
今後は、健康増進・健康づくりの保健事業を積極的に進め、医療費の適正化に努めてまいります。

## 豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり

### 学校教育の充実

「生きる力」を育むという学習指導要領の理念を実現するため、次世代を担う児童・

## 青少年の健全育成

年々、青少年が抱える問題が深刻になっております。「青少年育成桜川市民会議」を中心に、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高め、明るい地域づくりを進めてまいります。

## スポーツ活動の振興

これまでのスポーツ振興施策を継続するとともに、さらにスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送れる環境づくりに努めてまいります。  
また、住民の皆様が主体的となつて運営する「総合型地域スポーツクラブ」につきましては、多くの皆様が参加できますように周知してまいります。

## 文化財の保存・活用

伝統工芸や多様な伝統芸能について、保護・保存に努めるとともに、後継者の育成や伝承を図ってまいります。  
また、震災により被害を受けました、真壁の町並みの、歴史的建造物につきましては、引き続き国・県の支援を受け、復旧を推進してまいります。

## 快適で潤いのある生活環境づくり

### 防災・消防対策の充実

市民の皆様が生命・財産を守るため、災害に強いまちづくりを進め、防災意識の高揚や災害時における機動力の強化に努めてまいります。  
本年度から3か年事業として、防災行政無線のデジタル化を合併特例債事業を活用し、進めてまいります。  
また、防災用備蓄倉庫の新設や、県西地区11市町で締結いたしました「災害時相互応援協定」などを踏まえ、大規模災害発生時の初動体制の強化を図ってまいります。

### 防犯および消費生活対策の推進

さらに、消防ポンプ自動車の更新や防火貯水槽の設置などを年次計画に沿って整備を進め、消防防災体制の充実を図るとともに、消防団員の育成・自主防災組織との連携を図ってまいります。